



青空職員会議★保育再開に向けて!

再開（再会）の喜びをかみしめながら、一步一步！

園長 内野彰裕

この日をどんなに待ち焦がれたことでしょうか。本日より、約3ヶ月ぶりに幼稚園が再開いたします。感染防止対策を行った上で徐々に保育を行っていくこととなります。幼稚園でも、普段の保育や行事などに対し、その都度対応を考えていくこととなりますので、保護者の皆様には感染防止対策をはじめ、引き続きご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

●一人一人が安心して登園できるよう

6月1日～4日の「入園・進級おめでとう登園日」という形をとるにあたっては、これまでの集団による入園式、進級式からスタートするよりも、長期にわたる休園中における各ご家庭での様子をお伺いしながら、お子様の状態を一人一人把握することが大切であると考えました。お子様が安心して幼稚園に通うことができる第一歩となれば幸いです。

●リスクを減らしながらも、幼児期に必要な経験を

6月5日より分散保育という形で保育を再開していきます。幼稚園では様々な感染防止対策をとってまいりますが、園生活の中で感染リスクを完全にゼロにすることは不可能と思われる。ゼロにするためには幼稚園に通わないで、家の中にいる事が最善となりますが、それでは心身の発達に影響を及ぼし、特に人間関係や社会性といった、幼児期に集団の中で経験を通して学んでいく機会が失われてしまいます。木で例えるならば、幼児期に丈夫な根っこを生やすことで人格形成の基礎が築かれ、小中高大学と続く学校生活や、社会人としての生活に繋がっていきます。「リスクの低減」と「子どもの育ち」の2つを両立し、日常を一步一步取り戻していくためには、「リスクがあるから何もしない」という選択から、科学的な根拠に基づき対策をとった上で、「できるだけ工夫をしながら少しずつ行っていく」と考えていく必要があります。

●皆で喜び合える旧日を

しかし、どんなに工夫をしたとしても行事や活動によってはできないこともあります。そこで、特にこの1年間で大切にしたい姿勢として、「幼稚園に行けるようになったね。お弁当や給食が食べられるようになったね。色々な遊びができるようになったね。」と、できる喜びをみんなと一緒にかみしめる1年にしたいと考えています。子どもたちにとっても、プラスの思考で物事を捉えた方が、同じ事をするにしても取り組む姿勢が違ってきます。

●幼児期の発達に沿った「新しい生活様式」

「新しい生活様式」が示されました。幼稚園でもこれを参考に、園の運営を進めていくこととなりますが、この「新しい生活様式」は、感染症対策としては有効ですが、日常の保育の中で「幼児の望ましい発達」を考えると不安な要素もあります。手洗いなどの衛生管理はこれまで通り必要なことですが、特に密集して遊ぶことが当たり前の幼児にとって、ソーシャルディスタンスを徹底することは難しく、また密集、密接を通して育ち合う幼児の特性を考えると、発達面での影響も心配されます(※)。これまで、一緒に仲良く(=密に)過ごすことが良しとされてきた中で、ただ密にな

ることを注意されるのでは、幼児にとって何が正しくて何が間違っているかを理解することが難しくなります。そこで、提示されている「新しい生活様式」を基に「幼稚園における生活様式」を本園の環境に合った形で考えていく必要があります。また、できるだけ子どもたちにもわかりやすいルールにして、自然な形で行っていくことが大切と考えています。例えば、園庭での活動のように、感染リスクが低い環境の中では、ソーシャルディスタンスを徹底することよりも、これまで集団の中で思い切り遊べていない子どもたちの心を解放し、友達と一緒にあそべる喜びを最大限感じさせてあげたいと思います。幸い、本園の園庭は三密を避けるのに十分すぎるほど広く、保育室はドアを全解放することによって十分な換気ができるだけでなく、テラス(縁側)と合わせ、半屋外の環境を作り出すことができます。こうした本園特有の環境を十分に活かしながら、「幼児期の発達を考慮した上で新しい生活様式」を意識して子どもたちができるだけ安心して過ごせるように工夫をしております。その他、具体的な方法につきましては、画像や動画なども含め、随時お知らせ致します。保護者の皆様には、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<参考文献>

- ※「新しい生活様式を画一的でなく、年齢層毎の行動指針を」
こども環境学会代表理事、東京工業大学名誉教授 仙田満氏
- ※「小児の新型コロナウイルスに関する医学的知見の現状」
日本小児科学会 予防接種・感染症対策委員会

●規則正しい生活習慣を

日常の中で規則正しい生活を送ることが、健康で免疫を高める上で大切となります。幼稚園での活動的な日常が始まる準備段階としても、ご家庭において「早寝早起き朝ご飯」を中心とした規則正しい生活習慣を送っていただきますようお願いいたします。

●「大丈夫！」の一言で子どもに安心を

感染対策に注意を払っていく中で、子どもは周囲の大人のいつもと違った表情や、テレビから流れる非日常的な雰囲気や敏感に察知することがあります。大人は理屈を理解することができますが、子どもは感覚的に捉える傾向が強いため、不安だけが心に残ることがあります。そこで、身近にいる保護者の方や私たち教職員が、子どもたちに安心感を与えてあげることが大切です。こういう時だからこそ、子どもたちには「大丈夫！」と言って笑顔を見せてあげたいと思います。保護者の方も園生活の中で不安に思われることがあるでしょう。そんな時はどうぞご相談ください。皆様と一緒に子どもたちの園生活をよりよいものにしていきたいと考えております。

●「新しい生活様式」を少し紹介します



テラスにリュックの置き場エリアを



手作り屋外用テーブル!



「ここで待とうね!」



遊びの拠点を増やすため、砂場や築山などを増設!

